

木くぼり

樹木の不思議 54



No. 89

発行 '10-9月号

株式会社 ナガイ内
住まい教室 金谷教室

スギ、ヒノキ 今昔物語

私たちになじみ深いスギやヒノキも、天然ものは秋田県の山奥、屋久島、木曾や富士山の青木ヶ原のように人里離れた地にしか生えていません。今でこそ山奥に行かなければ見られない杉の天然林ですが、2千年前の弥生時代ごろまでは、東海地方や北陸地方では平野部に普通にあったことが静岡市の登呂遺跡や福井県三方町黒田の埋没林などから明らかです。黒田の埋没林は水田の下に巨大な杉の切株が一面にあったもので、石斧や鉄斧で切断した跡があり、ここに縄文時代から奈良時代のころまで杉の林があったことがわかっています。弥生時代以降、平地の開墾が進んだため、今では平地の天然（生）林は富山県入善町の「杉沢の沢スギ」一箇所だけとなってしまいました。



「杉沢の沢スギ」↑

黒田の埋没林の巨大なスギの根株↑

弥生時代以降、天然林が激減したのはスギだけではありません。古代には王都造営が盛んに行われましたが、その巨大な木造建築物を可能にしたのは最優良材であるヒノキです。法隆寺や東大寺など現存する建造物の材を見るとそのほとんどが目のつんだ樹齢数百年のヒノキの大材です。これらの用材は奈良盆地からさほど遠くない畿内周辺の山々から供給されたものですが、そこは今は大部分がスギやヒノキの人工林となっています。

伐採、加工用の刃物が縄文時代の石から弥生時代以降の鉄に代わることにより、日本列島の平地とその周辺に普通にあったスギ、ヒノキ、モミ、コウヤマキなどの針葉樹はほとんど失われていったのですが、驚異的な復活を遂げたのがスギです。スギは他の針葉樹に比べ成長が速く育成も比較的楽なことから、天然の分布域をはるかに越えて北海道と南西諸島を除く全国至るところに植林されるようになりました。今私たちが目にするスギがごく当たり前に生えている光景は、東海や北陸地方では二千年前に戻ったようなものですが、その他の地域ではごく歴史の新しいものであることとなります。

参考資料：「森の木の100不思議」、インターネット

住まいの体感ルームへお越し下さい！

実際に見て、触れて、五感で居心地の良い空間をイメージできます。

当社倉庫2階の展示室「体感ルーム」には、新たに建具が入りました。より住空間のイメージがわかり易くなったと思います。是非一度体感しにお越し下さい。お待ちしております。

※事前予約制です。



【夏休み 親子木工教室】のご案内

※ 既にお申込頂いた方もいらっしゃいますが、再度ご案内致します。

- 日時 平成22年8月21日（土） AM9:00~12:00
- 場所 (株)ナガイ倉庫
- 参加対象 小学生以下は保護者同伴（保護者1名で児童2名でも可）
先着30名とさせていただきます。
- 参加費用 子供1名 500円（材料費として）
- 持ち物 道具はこちらでも用意しますが、できるだけ、ご家庭にあるものを記名の上ご持参ください。
（のこぎり・かなづち・釘抜き又はペンチ・紙やすり・ものさし・三角定規・鉛筆など） タオル・水筒
- 作品内容 昨年同様、小物入れやペン立てなど親子で楽しく作りましょう。

NEW 島田市島（旧金谷町島）にて、井村邸 新築工事着工しました！



体感ルーム見学、木工教室のお問い合わせ、お申込みは下記までお願いします。

(株)ナガイ 島田市牛尾510-2 TEL (0547) 45-3501